

## 第2章 主要課題の整理

主要課題については、宇部市を取り巻く現状等の整理を踏まえ、4つの視点から整理しました。

### 課題1 安心・安全な通行空間の確保

街路樹の中には剪定不足や大型化により、建築限界を超えている場合や隣接地への越境がみられるもの、上空の架線へ接触しているものがみられます。また、枝葉等の繁茂によって、交通標識や街路灯を阻害しているものがあり、自動車運転者にとって視認性が悪くなっている箇所があります。

安全・安心な通行空間を確保するため、剪定や伐採等の適切な管理の実施により通行の阻害要因となる問題箇所への対策を講じるなど、良好な街路樹に繋がる維持管理を行う必要があります。



根上がり・舗装クラック



有効幅員の狭小化



架線への接触



道路標識の視認性阻害

#### ○ 現状等の整理

- ✓ 移動等円滑化促進地区、ゾーン30、あんしん歩行エリア等の指定
- ✓ 歩道幅員の狭い路線における有効幅員の狭小化
- ✓ 建築限界越え（車道側・歩道側）による安全な通行の阻害
- ✓ 枝葉の隣接地への越境や架線への接触
- ✓ 枝葉の繁茂による交通標識等の視認性阻害及び街路灯の光阻害
- ✓ 大型化の影響で発生した根上がり・舗装クラックによる安全な通行の阻害 など

## 課題2 健康な樹木の保全

街路樹の中には植栽環境の影響により、葉の状態が悪いものや先端枝の枯れなどの生育不良となっているものがみられます。また、開口空洞、樹皮枯死・欠損・腐朽、病害虫の発生など、異常が発生している樹木もみられました。

樹木が持つ本来の機能を十分に発揮するため、樹木診断・処置等の実施により樹木の異常を改善するとともに、速やかに対策を講じることができるとような管理体制を構築する必要があります。



太枝折れ



幹の空洞化

### ○ 現状等の整理

- ✓ 落枝や倒木のおそれ（太枝枯れ・折れ、枯死・著しい衰弱）
- ✓ 不要な支柱の残置による倒壊のおそれ・生育阻害・景観の悪化
- ✓ 植栽環境等の影響による生育不良（葉の状態、先端枝の枯れ）
- ✓ 樹木の異常の発生（キノコの発生、開口空洞、樹皮枯死・欠損・腐朽、病虫害（穿孔痕、フラス）、揺れ、不自然な傾斜）
- ✓ 病虫害の発生や鳥のフン被害 など

## 課題3 周辺環境及び景観との調和

街路樹は、街並みに潤いや美しい景観をもたらし、季節を感じさせてくれるという意見が多かった一方で、不適切な管理により樹形に問題があるものや雑草が繁茂しているもの、多様な樹種や少ない本数によって、周辺や並木景観に不調和をもたらしている箇所もみられました。

街路樹は、まちなかの貴重な緑であるとともに、都市景観を構成する重要な要素となっているため、道路構造に応じた樹種選定や植栽配置を行うことで、統一性のある並木景観の創出を図る必要があります。



枝葉の繁茂による暗がりの発生



緑地空間の閉塞

### ○ 現状等の整理

- ✓ 強剪定等の不適切な管理による樹形の悪化
- ✓ 多様な樹種や間隔が狭い植栽による並木景観の統一性の欠如
- ✓ 植栽本数が少ないことによる並木景観の悪化
- ✓ 剪定等の管理不足による雑草や枝葉の繁茂による暗がりの発生
- ✓ 空き枿による景観の悪化（低木の枯死による空き枿も含む） など

## 課題 4 適切な維持管理の実施

近年、樹木に関する管理経費は増加傾向となっておりますが、今後は生産年齢人口の減少に伴う税収の減少や高齢化に伴う扶助費の増加など、厳しい財政状況になることが予測されており、樹木の維持管理に充てることができる財源の確保は困難になると考えられます。また、街路樹等に関する支援は実施しているものの、市民も特に街路樹のある道路の近くに住まわれている方を中心に、落葉や木の実で困っているとの意見も挙げられています。

今後も市民との協働による効率的かつ効果的な維持管理を実施するため、市民意識の更なる向上や既存施策の普及啓発を行うとともに、支援の更なる拡充を図る必要があります。



住民負担が大きい落葉清掃



自然侵入樹木

### ○ 現状等の整理

- ✓ 人口減少・少子高齢化等に伴う厳しい財政状況
- ✓ 樹木に関する維持管理費の増大
- ✓ 住民植栽樹木や自然侵入樹木による視認性阻害及び景観の悪化
- ✓ 公園外周部への低木植栽や大型化した樹木による見通し阻害による防犯上の問題
- ✓ 「落葉や落ちた木の実で困っている」等の意見が多い（特に街路樹のある道路の近くに住まわれている方） など